

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 協 議

(1) 視察研修について

(2) 地域活性化の方向性について

2 その他

(1) 令和5年度第4回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和5年6月21日（水）午後2時から4時まで

4 開催場所

大島就業改善センター 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：丸田新一（会長）、武田昌午（副会長）、飯田國男、内山信、武江一義、中村朝彦、丸田松男、山岸久雄、吉野健治

・事務局：大島区総合事務所 岩野所長、岩野次長、武田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長、篠原主任

8 発言の内容

【丸田会長】

・会議の開会を宣言

・挨拶

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・本日の会議録の確認は、委員番号11番の山岸久雄委員にお願いします。
- ・協議事項（1）視察研修について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・資料No.1及び参考資料1、2に沿って説明。
- ・この研修は、地域づくりにおける先進地に視察へ行くことや、専門家等の話を聞くことにより、知識を深めることを目的としている。委員の皆さんの知識を広げること、自主的審議事項の深掘り等へつながると考えている。このことを頭のすみにおいて、協議していただきたい。
- ・また、今回はプロジェクターを使い、皆さんの意見をスクリーンに表示させていただく。これにより、視覚的に理解しやすくなると考えているため、ご了承いただきたい。

【丸田会長】

- ・今ほど事務局から説明があった。表題は視察研修であるが、研修の形式は視察だけでなく、参考資料に記載のとおり講演会もある。
- ・また、これまで住民アンケート調査の実施や、地域活性化の方向性の協議を行ってきたが、今後、協議を進めていくうえで、改めて区内の現状を探る視察というのも良いのではないかと考えている。
- ・去年は、移住の取組の先進事例研究のため、十日町と柏崎市へ視察に行ったが、今年の研修のテーマについて、皆さんに意見を伺いたい。
- ・「何のために」、「どこに行きたいのか」、「視察なのか、講演会なのか」、武田副会長から順に発言をお願いします。

【武田副会長】

- ・具体的な視察場所についての意見はないが、昨年と同じように先進地域の視察がよいのではないかと思います。

【武江委員】

- ・委員の知識を深めるため、視察がよいのではないかと思います。

【中村委員】

- ・先進地に視察へ行けばよいと思う。具体的な場所についての意見はない。

【丸田（松）委員】

- ・大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員で集まって、意見交換を行うのが

よいと思う。

【山岸委員】

- ・行き先についての意見はないが、行って終わりということでは意味がない。帰ってきて、何かしら地域に足跡が残る視察となるとよいと思う。

【吉野委員】

- ・私自身興味があるということもあるが、ごみの分別の意識を高める目的で、十日町市に新しくできた最終処分場の施設見学がよいと思う。
- ・また、集落での地域活動が盛んな集落ということで、10年前に十日町の赤倉集落へ視察研修に行っており、施設見学と併せて、改めて地域の状況を見てくるのがよいのではないかと思う。

【飯田（國）委員】

- ・会長の提案のとおり、区内の視察でよいと思う。

【内山（信）委員】

- ・視察の場所についての意見が出ているが、まずは目的を決めるべきではないかと思う。目的が決まれば、自然と視察場所も決まると思う。

【丸田会長】

- ・私の考えとしては、どこに視察へ行っても、委員の知識が広がるため、意味のあるものと思う。
- ・先ほど、丸田（松）委員が発言した、大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員での意見交換会については、11月に合同研修が別途予定されているため、今回は別のものにしたいと思う。
- ・講演会は記憶に残りづらいと考えているため、視察がよいのではないかと思う。

【岩野次長】

- ・今ほど各委員の意見等をお聞かせいただいたうえで、事務局として1つ提案させていただく。
- ・昨年度に住民アンケートを実施し、これまで協議会でその分析を行っていただいていた中で、地域の課題や、地域の目指す方向性などが、少なからず見えてきたものと思う。そこを深めるための視察というのも重要だと考えている。
- ・先ほど、内山委員が言われたように、まずは視察の目的や方向性を決めていけば、そこに見合った視察先も自然に決まっていくのではないかと思う。

【丸田会長】

- ・事務局からの提案について、委員に意見を求める。

【中村委員】

- ・自分で面白いと思い、興味を持って行ったところは、記憶に残るし新しい発見があるように思う。
- ・テーマを決めたうえでの視察という考え方もあるが、これを行っているから見に行くというところは、大抵想定どおりの内容であり、新たな発見や気づきにつながらないように感じる。

【丸田会長】

- ・前は、移住の取組の先進事例研究ということで、視察研修を行った。今回についても何か目的があればよいと思う。
- ・委員の皆さんからの意見を聞いたところ、講演会よりも視察へ行くとの意見が多かったように感じたが、視察へ行くということでよいか。

(「はい」の声)

- ・では、研修の形式は、視察ということで決定する。
- ・次に視察の目的や方向性についてだが、事務局から何か提案等はあるか。

【岩野次長】

- ・地域活動を行っている地域は県内に数多くある。ただ、視察をすることで、大島区に何か落とし込めるかどうかは別の話ではあるが、地域協議会として視察へ行くのであれば、目的はあったほうがよいと思う。
- ・目的が、地域活動の活発な場所へ行くというものだけでもよいとは思っている。どのような方向で活発なのか、ある程度決めていただかなければ、事務局としても提案しづらいところである。
- ・ただ、先ほど中村委員の発言のとおり、全く関係ないようなものが、気づきにつながるということもあるかと思う。そういった場所を、委員の皆さんの中で考えていくというならば、今ここで決めるという話ではなくて、次回以降の協議会で決定するというだけでもよい。
- ・ただ、その場合は、具体的な視察場所の提案をいただきたいと考えている。その部分において事務局としての支援は惜しまないが、あくまでも地域協議会主導で考えていただければと思っている。

【丸田会長】

- ・今ほど事務局から発言があったが、この場で決定するのは難しいように思う。
- ・この協議事項については、次回の協議会で再度検討することとし、次回の協議会までに、各委員が案を考えてくるということでよいか。

(「はい」の声)

- ・協議事項（２）地域活性化の方向性の作成について、事務局に説明を求める。

【岩野次長】

- ・資料No.2に沿って説明。
- ・今回は、資料No.2やこれまで行ってきた協議内容をもとに、大島区の将来の方向性についてのスローガンを決定していただきたい。
- ・具体的な方法について説明する。まず、座席テーブルごとにグループを作り、スローガン（案）を作成する。その後、グループから発表していただき、最後に全体協議にて、スローガンを決定していくという流れでお願いしたい。
- ・時間配分の目安として、グループワーク20分、発表3分、全体協議20分とさせていただきます。

【丸田会長】

- ・事務局の説明のとおり、グループワークを行う。
- ・Aグループは、私、飯田國男委員、武江一義委員、Bグループは、武田昌午副会長、内山信委員、吉野健治委員、Cグループは、中村朝彦委員、山岸久雄委員、丸田松男委員とする。
- ・グループワークは午後2時50分を目途とし、その後発表とする。

(グループワーク)

【丸田会長】

- ・会議を再開する。
- ・Aグループから順に発表を求める。
- ・Aグループで協議した結果、スローガンは、「大島区の自然豊かで人間性がよい所を生かして暮らしやすい町づくりにしたい」となった。

【武田副会長】

- ・Bグループで協議した結果、スローガンは、「四季を実感できる地域性をいかして人口減少の鈍化を進めます」となった。

【丸田（松）委員】

- ・ Cグループで協議した結果、スローガンは、「大島区の豊かな人間性、地域性を活かした住みやすい地域づくりを行います」となった。

【丸田会長】

- ・ これらの意見をもとに、スローガンを協議する。
- ・ 委員に意見を求める。

【飯田（國）委員】

- ・ AグループとCグループのスローガンは類似しているため、この2つをベースに、Bグループのキーワードを盛り込んでいけばよいのではないかと。

【丸田会長】

- ・ AグループとCグループのスローガンを比較すると、Cグループの方が良いように感じられる。

（賛同の声）

【吉野委員】

- ・ 自然が豊かとか、人間性が良いというのは、聞こえはいいが具体的にイメージがでない。個々の理由まで見ていけば分かるが、少し曖昧な感じがする。事務局としての意見を聞きたい。

【岩野所長】

- ・ 各委員の意見等をお聞かせいただいたうえでの所感となるが、今ほど吉野委員が発言したとおり、スローガンが少し曖昧であるように感じる。
- ・ 今後、構成要素という具体的なものを決めることを考えると、内容を絞ったスローガンにした方がよいかもしれない。

【岩野次長】

- ・ 本協議の趣旨としては、地域活性化の方向性を決めることにより、地域協議会と行政が、同じ方向を向くことである。
- ・ そのため、今回決めるスローガンは、課題を解決するための方向性という意味合いではないため、必ずしも具体的にする必要はない。
- ・ ただし、今後の構成要素にて、実際にどういうことをしていくのか、次回決めていただくため、そこに取り組みやすいようなスローガンの方がよいと思う。

【武江委員】

- ・Cグループのスローガンに自然が豊かという文言を入れたほうがよいと思う。

【中村委員】

- ・武江委員の意見と同じく、自然が豊かという文言を入れたほうがよいと思う。
- ・人間性と地域性という言葉は類似しているため、1つに集約したほうがよい。
- ・Aグループが暮らしやすいという言葉、Cグループは住みやすいという言葉を使っているが、どちらか良い方を選んだほうがよいと思う。

【丸田（松）委員】

- ・先ほど吉野委員から発言があったが、地域活性化の方向性のスローガンとしては、確かにインパクトが不足していると感じる部分はある。とはいえ、議論できる時間が限られている以上、中村委員の発言のとおり、文言を追加するなどして、各スローガンを1つに集約するのがよいと思う。

【丸田会長】

- ・委員の皆さんに意見をお聞きしたところであるが、今回の協議会にて、スローガンまでは決めたいと思っている。そのため、文言を追加するなどして、各スローガンを1つに集約するという方向で決定したい。

【丸田（松）委員】

- ・「大島区の豊かな自然と、地域性を活かした住みやすいまちづくり、（または、地域づくり）を目指します」というのはどうか。

【武江委員】

- ・「地域性を活かした」とあるため、「地域づくり」より「まちづくり」の方がよいと思う。

【中村委員】

- ・スローガンが曖昧であるという意見があるが、私たちのグループでは、参考資料の基本形をもとにスローガンを作成した。具体的なものは構成要素に盛り込めばよいので、スローガンはこれでよいと思う。

【吉野委員】

- ・今の時点でスローガンを決めたとしても、確定的なものではないと考える。今後、構成要素等を議論していく中で、適宜修正していけばよい。

【丸田会長】

- ・今ほど中村委員、吉野委員から意見があったが、スローガンは「大島区の豊かな自

然、地域性を活かした住みやすいまちづくりを目指します」で決定とし、より具体的な内容については、構成要素に盛り込むということでよいか。また、スローガンについて、今後の協議の中で、適宜修正できるものとしてよいか。

(「はい」の声)

- ・前述のとおりのスローガンで決定とする。
- ・事務局に内容の確認を求める。

【岩野次長】

- ・今回スローガンを決定していただいたが、今後、構成要素を整理し、策定していく中では、スローガンの一部修正もありうるという方向性で承った。

【丸田会長】

- ・その他事項（1）令和5年度第4回地域協議会の開催日について、7月24日（月）午後2時から大島就業改善センターで開催することとしてよいか。

(「はい」の声)

- ・ほかに質疑を求めるもなし。
- ・それでは、以上をもって第3回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-594-3101 (内線 61)

E-mail : oshima-ku@city.joetsu.lg.jp